うなぎ地蔵

城里町

城里町の下古内に、佐竹氏の菩提寺として栄えた清音寺（せいおんじ）というお寺があります。

昔、この大きなお寺には数十人の小僧がいて、その中に、眉目美しい一人の小僧がいました。

小僧は毎日どこからかおこわをたくさん持ってきては、本尊の観音さまにお供えしていました。朝夕のおつとめは熱心にするものの、誰とも口を聞かないので、みんなはそのおこわをどこから持ってきているのかわからないままでした。

ある日、村の領主がやってきて藤井川の龍譚淵（りゅうたんぶち）で釣りをしていると、一丈（約３ｍ）もある大きなうなぎがかかりました。領主も村人も大そう喜び、ようやく捕まえたうなぎの腹を割いてみると、そこにはたくさんのおこわが詰まっていました。



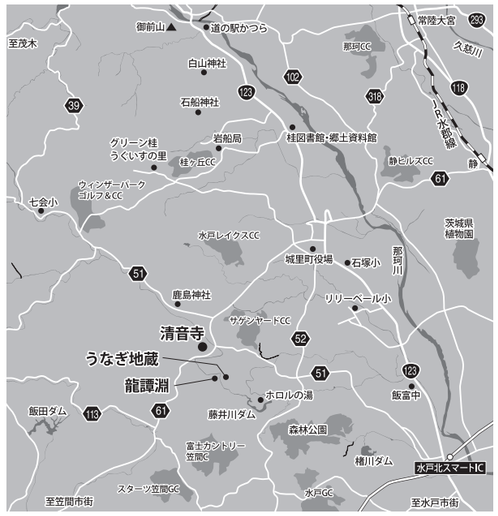
これには領主も驚き、「これは藤井川の主ではないか」と心配になり、うなぎを食べることなく川岸へ埋葬しました。

それ以来、おこわを供えていた清音寺の小僧の姿は見えなくなりました。

「あの小僧は、大うなぎの化身だったのではないか」とうわさし、あわれに思った村人たちは、うなぎを埋葬したところに石のお地蔵さまをつくり供養しました。

このお地蔵さまは、今も「うなぎ地蔵」として地域の人たちに慕われています。

（参考文献）いばらきのむかし話　藤田稔 編著
茨城の史跡と伝説　茨城新聞社 編



お出かけの際には、周囲の状況等に十分ご配慮いただけますようお願いいたします。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社
本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5　☎029-225-1215（大代）　https://www.ibaraki-isuzu.co.jp